



福留 統 (福尾)

特産品とは
雲南市に学ぼう

特産品づくりが「大山恵みの里公社」を核にして進められていますが、旧町時代から成功した例は中山のブロッコリーと大山のブルーベリーです。二つとも後継者とマネをする地域が出てきたことが成功と

言われるので

ンニヤクが栽培されていますが、これらの特産品にするには20年以上の歳月とやる気のある町民の情熱とたゆまぬ努力が必要になります。そして、長期間の町のバックアップが欠かせません。大山町は農業の町とよく言われます。もう一度足下を見つめて何ができるかを再発見することが、今必要ではないでしょうか。



伊藤 清東 (富長)

伝
え
て
咲
か
す
じ
げ
の
花

この時期は多くの地域でそれぞれ特有の氏神様の秋祭りが行われて、和気あいあいのうちに色々な催しがなされる季節となっています。私も富長集落では神社境内において収穫に感謝した祝いの餅つきを行い、子ども神輿と米俵を積んだ山車(だし)を造って、男の子は神輿に、女の子は山車の行列に参加して威勢よく適宜な行程を一巡します。

納されます。さらに、神社の参道では焼きそば・焼いか・飲物などがふるまわれて素晴らしい景色が当たる抽選会も行われ、舞台では、有志による芸能が披露されます。このような集落の心のつながりと繁栄に向けての活動は「未来へ向けて伝えて咲かすじげの花」であると痛感するものです。



福永 博昭 (赤坂)

新
し
い
行
事
で
絆
を

今年の春、集落で「第1回花見グラウンドゴルフ大会」を開催しました。広場に桜が数本あり、「みんなの花見ができたらいいな」と集落の役員会で相談したところ「子どもからお年寄りまで楽しめるグラウンドゴルフをしてから

老若男女の新たな絆を深めることができました。最近、大山町は過疎地域指定されたと聞きました。過去45年間の人口減28%、高齢者比率32%、若年者比率14%と過疎の要素を満たしたのです。この数字は「将来の大山町がどうなったらいいかみんな考えて、行動しよう」と言っているように感じました。

あとがき

議員定数は、以前は地方自治法が人口区分にしたがって段階ごとに定数を定める法定定数制度でした。

それが、地方分権改革の一環で、各自治体が条例で定める条例定数制度となった。ただ、人口区分ごとに定数の上限がある。

これを受け、また、厳しい財政を反映して議員定数を削減すべきとの動きが、議員定数問題です。

実際、合併などもあって市町村議会が県議会より先行して見直しが図られている。ただ、住民の多様で幅広い意思の反映という観点からいえば、議員定数は少なければよいというわけではない。

財政状況が厳しいという事情と、議会がよく機能していないという住民不信の反映もある。決算に占める議員報酬費は全体の1%にも満たない。

西山

募集

声をおよせください。

(テーマ) 大山町活性化のアイデア
 (題) 10字程度
 (文字数) 250~300字程度
 (明記するもの) 住所・氏名・年齢・電話番号
 (はがき送付先) 〒689-3211 大山町御来屋328
 (FAX送信先) 0859-54-5214
 (電子メール) gikai@daisen.jp

《発行責任者》
 議長 野口俊明

《広報委員会》
 委員長 竹口大紀
 副委員長 大森正治
 委員 西山富三郎
 委員 池田満正
 委員 杉谷洋一
 委員 米本隆記

議会だよりのご感想をお聞かせください!



0859-54-5213



gikai@daisen.jp